



人類に  
奉仕する  
ロータリー

## 第 1206 回

2017年1月24日(火) 曇 第24回

～ 職業奉仕月間 (1/25～31 追悼記念週間) ～

斉 唱 それでこそロータリー  
 出 席 会員 53 名 (出席率算入人数 42 名)  
 出席 35 名 出席率 83.33%  
 前々回補填率 100% (1月10日分)  
 ゲスト 名古屋市役所  
 名古屋城総合事務所長 西野 輝一さん  
 体験例会 (有)ライフ予防医学センター  
 代表取締役 上田 正秀さん

### 1月の誕生日

1日 榊原 和美さん 2日 牧野 好弘さん  
 3日 佐々木元彦さん 14日 田中 一雄さん  
 18日 日下智重子さん 22日 三島多恵子さん  
 26日 末永 祐敬さん

### 配偶者誕生日

2日 加藤 尚子さん 2日 牧野恵美子さん  
 4日 細井 篤子さん 27日 大平 剛さん

### 1月の結婚記念日

17日 加藤 宜之さん 18日 中村 勝さん

## 会長あいさつ

会長 木下 福郎さん

皆さま、こんばんは。寒い日が続いております。皆さま、免疫力が下がっておりますので、お風邪を召さないよう気をつけていただきたいと思います。私は先週、奥志賀へスキーをしに行きました。新雪が沢山積もっていて、非常に良いコンディションで滑る事が出来ました。しかし、名古屋のほうが寒い感じが致します。



よく「もう今期も終わりましたね。」とお声をかけていただきますが、まだまだ1月に入ったばかりであと半年弱あります。一生懸命にいい例会をやりましょうと、本日の理事会でお話をさせていただきました。

理事会では外部卓話でどなたをお呼びしようかという話をしております。理事の大橋さんから、宇宙飛行士の山崎直子さんをお呼びしたいというお話がありました。私は宇宙飛行士の方は何を話すの?とよく分からなかったのですが、たまたま名古屋大学へ講演に来られるので、聴きに行ったらどうですかと言われました。そして、名古屋大学理学部へ行って無料で講演を聴かせていただいたのですが、非常に面白くて、もしお呼びできたら皆さまが非常に感動されるのではないかと思います、現在お願いをしています。

何が面白かったかと言いますと、1つは現在宇宙ステーションが地球の周りを回っているのですが、もし何かあった場合にはソユーズを積んでいるので24時間で地球に戻ってこられるらしいです。急病や大怪我をした時など、すぐに地球へ戻ってきて病院へ入れるので安心ですというお話でした。

2つ目は宇宙ステーションというのは耐久年数を10年間で設計されているそうです。今使用しているロシアの宇宙ステーションは18年も使っていて耐用年数を過ぎているのですが、まだまだ使えるので30年位は使うと言っていました。30年使ったらどうするの?と聞いたところ、今度は月にステーションを作る計画があり、それに流用したくて、かなりの部材をそちらに持っていきたくて、使わないものについてはばらして大気圏に放り込むと、自然に燃えるので処分が出来ると話していました。

3つ目は、宇宙ステーションでは疥癬虫の実験をしているそうです。7つの老化遺伝子があるのですが、無重力だと7つの老化遺伝子全てが働かなくなって老化しなくなるそうです。それを今、一生懸命に研究しているというお話でした。そして、無重力の実験を地球でもやりたいので、無重力の施設を地球上で作ると話していました。

私はロータリーの魅力というのは、例会でいかにいい卓話を聞ける事だと思っておりますので、皆さまも是非、こういう講師がいるのだという方がお見えでしたら、ご推薦をいただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

## 幹事報告

幹事 細井 俊男さん

1. 水野俊男さんから病気療養の為に休会届が出ています。1月1日から6月30日迄の下半期なので、前回皆さまにご承認いただきました、会費の半額を継続させていただきたいと思っております。
2. 日本のロータリー100周年委員会運営協力金納入のお願いというのが地区から来ております。これは1人200円の運営協力金ですが2760地区が全て支払うという事になっておりますので、当名南RCもそれに倣って1人200円を納入させていただきます。
3. クラブ細則の変更の件ですが、「入会金」というのを「正会員登録料」という名称に細則の変更させていただきます。
4. 海外出張届が出ております。私、細井ですが、タイへ2月3日（金）～2月7日（火）までです。

## ニコボックス

◆ 名古屋市役所 名古屋城総合事務所長 西野輝一さん 本日の卓話楽しみにしています。

鈴木 一博さん 高橋 司さん 有川 英敏さん  
伊藤 圭一さん 坂田 信子さん 田中 一雄さん  
中村 勝さん 吉木 邦男さん 入谷 直行さん  
川辺 清次さん 木下 福郎さん 川瀬 悟さん  
本多 利郎さん 三島多恵子さん 杉山 隆秀さん  
佐々木 暢さん 江松 央統さん 白藤 憲雄さん  
三浦 隆さん 三浦 和人さん 大橋さなえさん  
加藤 英敏さん 安藤 修さん 木村 猛さん  
小野 雅之さん 細井 俊男さん 牧野 好弘さん  
森田敏二三さん 大平 明子さん

本日合計 44,000円 累計 1,126,500円

## 委員会報告

■ロータリー財団委員会 委員長 三浦 隆さん  
皆さま、こんばんは。ロータリー財団より認証状と表彰のバッジが届いています。

ロータリー財団寄付認証者

- ・ベネファクター 木下 福郎さん
- ・第2回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
佐々木元彦さん  
鈴木 清詞さん  
鈴木 一博さん
- ・第1回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
細井 俊男さん

## アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

## 体験例会紹介

■紹介者 江松 央統さん  
皆さま、こんばんは。本日体験例会にお越しのゲストの方をご紹介させていただきます。(有)ライフ予防医学センター代表取締役の上田正秀さんです。是非入会していただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

### ■体験例会

(有)ライフ予防医学センター 代表取締役  
上田 正秀さん

皆さま、こんばんは。上田と申します。私は中村区で健康診断の会社を経営しております。本日初めて来て、意外と明るくてアットホームな感じで、非常に良い雰囲気だなと感じました。また検討しまして参加させていただけたらと思います。宜しくお願い致します。



## 外部卓話

■卓話者ご紹介 三浦 和人さん  
皆さま、こんばんは。本日は名古屋城総合事務所長の西野輝一さんがお見えになっています。皆さまご存知のように、昨年はようやく日本は20,000,000人の観光客が訪れました。フランスでは70,000,000人、イタリアでは40,000,000人近くです。要するに観光が経済のかなりの部分を占めるという時期になっております。特に名古屋はあまり評判がよくないです。その中で、西野さんがいかに名古屋の知名度を高めて観光客を誘致するのかを、市の経済局文化、観光客推進室長、経済局産業部次世代産業振興課長など色々とやられた中で、名古屋城の総合事務所長としていかに観光地として来てもらうかと頑張っておられます。簡単に言うと、皆さまの企業の何%かを担う立場におられますので、是非本日のお話を伺って、将来名古屋城を建てる事になったら寄付をお願いしたいです。

名古屋市役所 名古屋城総合事務所長  
西野 輝一さん

皆さま、こんばんは。本日はお招きをいただきまして本当にありがとうございます。ただいまご紹介をいただきました名古屋城総合事務所の所長をしております西野と申します。どうぞ宜しくお願い致します。



名古屋城につきましては、昨年大新聞紙上などを騒がせておりました、皆さまはどうなっているのだろうと思っておられるかもしれません。今、河村市長が天守閣を木造で復元するという話で議会にそれを設計する議案を出しておりますが、まだ議会では認めていただけてはいない継続審議という事になっております。天守閣がどうなるのかというのは、まだ決まっておられません。どうして天守閣を木造で建造するという話が出てきたのかと、そういった事も含めて本日はお話をさせていただけたらと思っております。名古屋城につきまして、名古屋の方々も意外に知ってそうで知らな

いという事が多いのではないかと思います。

実は名古屋城の天守閣というのは、日本で現在残っている城、昔から残っている城、復元した城全てを含めまして、天守閣の中では一番大きいのです。大阪城のほうが背は高いですが、面積では圧倒的に名古屋城のほうが大きいです。名古屋城の面積は実は姫路城の倍あるという事で、そんなに大きいのかと思われるかもしれませんが。それだけ名古屋城というのは元々造った時に大事な城であり大規模な城であります。本日は名古屋城について全般的なお話をさせていただきます。

こちらは名古屋城を上空から撮影しています。名古屋城につきましては、所謂第二次世界大戦までは天守閣も本丸御殿も残っていましたが、そこで残念ながら焼けてしまっています。色々と重要文化財も残っております。それから入場者数も今は日本も観光客が増えてきたという事もあり、尻上がりに増えております。本丸御殿を復元しているという効果もあると思います。昨年は1,740,000人、今年度は何とか2,000,000人を目指したいというところで頑張っております。

名古屋城はどういう成り立ちかと言いますと、実は1,610年に徳川家康が造っているのですが、案外知られておりません。ご存じない方が多いです。この時にはまだ大坂に豊臣勢がおりました。真田丸の世界ですので、そういった豊臣の勢力に対抗する、豊臣を包囲していく為の要として名古屋城を作ったという事があります。そして2年後の1,612年には天守閣が出来ています。その時に本丸御殿を造り始めまして、1,615年に完成しています。本丸御殿は元々藩主が政治をしたり生活をした場所ですが、その後、二の丸御殿というのが出来たので、藩主はそちらに移りまして、本丸御殿というのは将軍が上洛する際に泊まるその為に、上洛殿という最高の部屋も作って用意をしました。ただ、家光が泊まって以降は、中々上洛する機会がなく、次に泊まったのが14代の家茂です。要は長州征討へ行く途中に泊まりました。この2人しか泊まっていません。ですから、本丸御殿というのは実は物凄く贅沢な建物で、江戸時代はほとんど使われていませんでした。

それから江戸が終わって明治に入りますと、名古屋城は陸軍のものになりまして、軍の兵舎などが沢山出来ます。ただやはり天下の名城という所があり陸軍だけではもったいないという事で、本丸や西の丸は名古屋離宮という宮内庁の管理となりました。ですから、天皇陛下は度々本丸御殿にはお泊りになっています。

そして、昭和5年には離宮が廃止になり名古屋市に下賜されました。その時に国宝になりました。昭和5年に城郭としては名古屋城が国宝となった第1号です。第2号が姫路城ですから、そういう意味では名古屋城の価値というのは凄いものだったのだなと分かると思います。ところが昭和20年5月14日、戦争で天守閣、本丸御殿が焼けてしまいました。天守閣についてはその後どうしてもやはり名古屋のシンボルだという事で、昭和34年に今の形で再建をされています。また一方で本丸御殿も復元をという話が出まして、平成21年から工事をして、現在3分の2が出来ました。来年全面公開するという予定で進めております。

名古屋城の前は清州城という信長などは清州城が元々の本拠地ですが、ここでは所謂水攻めなどに弱いという事がありまして、家康はこの名古屋の地に清州越しと呼んでいますが、町ごと移しました。清州が全部引越して、そこから名古屋の所謂近代の名古屋の歴史が始まりました。どうしてこの名古屋城が今のこの場所に引越したのかと言うと、ここは名古屋台地という台地で、北は湿地帯、沼地で低くなっていますし、こちらは守らなくてもよかったです。そういう意味では天然の要害であるという事と、熱田や港があるという事で非常に便利が良いというような事から、ここに城が築かれました。名古屋城は天下普請と言いまして、所謂豊臣恩顧の大名20大名が色々と分担をして造っております。有名なのが加藤清正です。加藤清正はこの天守閣の石垣を担当しました。そういう意味では、熊本城とは加藤清正の繋がりがあります。

家康としては豊臣恩顧の大名の力を弱める為に、ここでお金を使わせて立派な城を造らせたというのが真相です。ですから、石垣に刻印が色々ありまして、それぞれ担当された大名の刻印を表しています。

名古屋城が出来た当時は、南側が城下町になっております。今の図では名古屋城の跡、碁盤の目の所はほとんど変わっておりません。今の名古屋の街というのは、名古屋城が出来た当初の形を残しています。今は本丸御殿の復元が進みましましたので、こんなに素屋根はありませんが、焼ける前の写真もあります。今の天守閣につきましては、昭和34年に造り直しました。5層5階立てで高さが48.5mという事ですが、ご承知のように鉄筋コンクリートで造っており、博物館の施設となっています。小天守閣も同じように鉄筋コンクリートで再建しています。これはちょうど昭和20年に空襲で天守閣が焼けている写真です。貴重な写真ですが非常に残念な写真でもあります。天守閣が燃えてしまった当時は、非常に寂しかった。昭和34年に多くの寄付もしていただいておりますが、市民の総意として再建したのかなと思います。

これもご存じない話ですが、実は天守閣の重さはこの下の石垣には全くかかっておりません。0kgしかかかっておりません。全部その重さはこの下に基礎が打ってあります。この大きな基礎で支えられておりますので、もし今天守閣の石垣が崩れても建物には影響はない形で造ってあります。これは小天守閣も同じです。この天守閣は鉄筋コンクリートで再建して石垣が崩れても強いのですが、何故木造復元をしなくてはならないのかという事です。

1つは60年近く経っていて老朽化をしているという事。もう1つは耐震性が低いという事。やはりこのビルの形で開口部が多いという事もあるのですが、耐震性が基準であるIs値が0.6を満たしていないという事があり、震度6強の地震で倒壊あるいは崩壊の可能性がある、その可能性が高いと言われております。大きな地震でもグシャッとすることはないとされていますが、いずれにしても耐震性を上げなければいけないのは確かです。耐震改修をするのは1つの方法ですが、ただ60年も経っている為コンクリートがかなり劣化していますので、耐震改修をしても保証できるのは40年です。

それであれば、耐震改修で30億円位かかるのです

が、それよりも木造で復元したらどうだろうかと  
いう事です。実は名古屋城につきましては、昭和実測  
図というものがあります。これは昭和7年から20年  
にかけて、非常に正確な図面が残されています。こ  
ういう詳細な図面があるのは、他の城にはありませ  
ん。他にも文献もありますし、写真も豊富に残って  
おりますので、そういう意味では史実に忠実な復元  
が出来る唯一の城であると言ってもいい状況です。  
現実の話として、今、本丸御殿はこの時残してい  
ただいた図面に基づいて史実に忠実に造っています。  
全く元あったものに準じて作る事が可能でありま  
す。そういう意味では、戦争で燃えてしまったもの  
を元あったように造り替えて、そういう取り組みを  
名古屋は行ったぞと、そして400年前の姿を見て  
もらえますよと発信していったほうが良いのではない  
かと、市長を先頭に我々としては今、木造復元を考  
えているところです。木造復元するとこのようなイ  
メージになります。実はこの木造復元を先にやって  
いるのが本丸御殿で、「金城温古録」という詳しい  
江戸時代の資料があります。それから昭和の始めに  
写された写真が沢山残っていて、昭和実測図もあり  
ますので、本丸御殿も天守閣も史実に忠実に復元  
する事が出来ます。

本丸御殿の話ですが、今、工事をやっていてそれ  
までは礎石が剥き出しになっていました。この礎石  
は保全をしながらこの上を土でかぶせて、その上  
に本丸御殿を建てているという状況です。工事の様  
子ですが、柱を伝統工法で組んでいって、土壁や屋  
根の柿葺きなど伝統的な工法を用いて昔の姿を再現  
しています。それから本丸御殿は中に障壁画があり  
ます。昨日もテレビで清水寺の障壁画の復元模写の  
話が出ていましたが、一応、今1,300面の障壁画の復  
元をしています。そしてその復元模写をしたもの  
を本丸御殿の中に展示と言いますか、元々あったよ  
うに嵌めてお見せしています。

これが何故こんな事が出来るのかと言いますと、  
戦争で本丸御殿は焼けたのですが、当時国宝であ  
ったこういう障壁画を疎開というか他の建物に移動  
させていて、火から免れたのが1,047面あります。そ  
れらを元に当時の他の物と研究比較して、元の姿は  
こうであったらと想定して復元模写していて、  
再現が来ています。「竹林豹虎図」という有名  
な狩野派の絵がありますが、これが火から免れたわ  
けです。これを復元模写して400年前の姿をご覧  
いただけるように本丸御殿の中でずっとお見せし  
ているという状況です。平成25年、平成28年6月と公開  
して、最後に工事をしている所を見ていただけるよ  
うにしていますが、来年の何れかの時期に公開を  
して、それで全面公開となる予定です。

焼失前の本丸御殿と現在の本丸御殿をよく見  
比べていただくと違うのです。何が違うのかと言  
うと、屋根が違うのです。焼失前の本丸御殿は瓦葺  
きです。現在は柿葺きとなっています。柿葺きとい  
うのは杉の薄い板を何枚も積み重ねて貼っている  
もので、それで中を守っているのですが、20年に1度  
位は全面補修をしなければならないという事があり  
ます。メンテナンスが大変という事で江戸の途中  
からメンテナンスが簡単な瓦葺きに変わっている  
のです。我々は元々あった姿を復元しています  
ので、柿葺きで復元をしたという事です。これは  
本丸御殿と

天守閣が焼ける前の写真です。先ほどの「竹林豹  
虎図」が昔の本丸御殿に嵌っていた時の状態です。  
やはり非常に復元模写が鮮やかですので、400  
年前はこうだったのかと見ていただくと非常に興  
味深いのではないかと思います。元々台所の部分  
は火を使うので瓦葺きになっています。

これから造ろうとしているのが上洛殿で、ここ  
が一番格式の高い部屋となりますので、非常に欄  
間の彫刻などもきめ細かいものになっております。  
將軍様がお入りになったお風呂である湯殿書院  
ですが、お風呂と言っても湯ではなく、当時は  
まだサウナ風呂でした。蒸気で湯はありません  
でした。

その他の物として二の丸庭園というのがとても  
価値がありまして、愛知県で先日もう1つ2番  
目に名勝となった所がありましたが、それまで  
は愛知県で唯一の名勝に指定されている庭園が  
この二の丸庭園でした。これは藩主が二の丸  
御殿から見える庭として作っていたものです。  
紅葉の時は結構綺麗なのですが、まだまだ発  
掘調査を行っている段階でまだきちんと出来  
ておりません。これをここ10年以内にきちん  
と整備して当時の姿にしていきたいと思っ  
ています。そうすると、建物だけでなく名  
古屋城の名勝という素晴らしい庭を楽しんで  
いただける、そういう新たな楽しみも出来  
るのではないかと考えております。石垣も  
熊本城が地震で大変ですが、名古屋城も  
色々普段からチェックしながら、悪い所  
があれば石垣の補修もしております。

あと新しいものとしては、「金シャチ横丁」と  
いうのが来年の3月にオープンする予定  
です。おかげ横丁ほどお店が沢山できる  
わけではないですが、名古屋城に賑わい  
をという事で、正門と東門の2カ所に  
作ります。飲食店・物販などですが、  
正門の前は江戸時代の街並みの風景を  
醸し出した横丁を作りたいと思っ  
ています。東門のほうにも作りますが、  
こちらはもう少し現代的なデザインで  
行こうかなと考えています。そして本丸  
御殿の中では普段は復元模写な  
のですが、実際に本物も天守閣の1階  
では常時置いてあります。それらを更  
に充実して見ていただけるよう展示  
施設を新たに設計しているところ  
です。これもここ2~3年でオープン  
させようという計画です。

最後に天守閣の話に戻りますが、一応  
天守閣につきましては、昨年市長が東  
京オリンピックまでを目指して木造  
で造り変える事が出来る提案を求め  
ました。それで2案出てきて、竹中工  
務店さんの案を優秀提案とし、その  
案に基づいて設計施工をしていく議  
案を議会に出しています。そのイメ  
ージ図によると規模の大きい天守閣  
、真新しい木造建築でとても迫力  
のある建築物になるのではないかと、  
我々は期待しています。

昨年の4月下旬に市民アンケートを  
行いまして、「2,020年迄に優秀提案  
による木造復元を行う」が21.5%  
で、「そこに囚われず木造復元を行う」  
が41.5%で、一応62%の方に木造  
復元のご賛同をいただいていると認  
識しております。その後の議会との  
やり取りもありまして、今は2,020  
年迄ではなくて2,022年を目標に  
進めるという考え方で、我々議会  
のほうに説明している状況です。議  
会からは何点か収支計画で本当に大  
丈夫なのか、現在最高で505億円  
という建設費ですが、本当にそれが  
妥当なのか、また石

垣の整備についての検討をもっと詳細にやるべきではないのかなどのご意見をいただき、そういった事への議論をしながら色々とお説明をしています。

また2月下旬に始まる議会の中でも、この天守閣の木造復元についての議案が審議されます。これが可決されれば、木造復元を進める形で設計に入っていきます。何れにしましても先ほども観光客をという話がありまして、名古屋城は我々としては大きな観光資源であるのは勿論ですが、やはり名古屋市民にとって心の底にある非常に大きな存在であると思いますので、そういった事も踏まえてしっかりと整備をする。また今年は初めてカウントダウンを名古屋城でやらせていただきましたが、色んな形で名古屋城の魅力をアップさせていきたいと思っております。今後とも色々ご支援を賜りますようお願い致します。本日はご清聴いただきまして本当にありがとうございました。

■ 1 月度理事会 議事録 ■

報告者 加藤 英敏さん

日時 2017年1月24日(火) 17:30～  
場所 名古屋マリオットアソシアホテル  
17F「楠」

出席者 木下、木村、入谷、細井、加藤(英)、  
吉木、大橋、三島、三浦(和)、川辺、  
安藤、佐々木(暢)

17名中12名参加

◎審議事項

一、休会者年会費減額の件

＜幹事 細井 俊男さん＞  
水野俊男さん、上期に引き続き休会(病氣療養)のため、年会費減額とする

一、ロータリー 100 周年委員会運営協力金支払いの件

＜幹事 細井 俊男さん＞  
会員一人あたり 200 円送金、雑費にて計上する

一、クラブ細則変更の件 <会長 木下 福郎さん>  
「入会金」ではなく「正会員登録料」として継続する

◎協議事項

一、外部講師選定に係わる件

＜会長 木下 福郎さん＞  
3/14、4/4、5/9、5/30、6/6 卓話者未定につき、皆さまから紹介していただく

一、次年度地区補助金事業の件

＜副幹事 加藤 英敏さん＞  
次年度担当の山本郁矢さん、犬飼りさ枝さんに次回理事会で、提案していただく

◎報告事項

一、次年度副委員長の件

＜副幹事 加藤 英敏さん＞  
次年度副委員長が、次々年度委員長となるため、次年度会長エレクト・副幹事が決定

一、2月～4月度プログラムの件

＜会場運営・プログラム委員長 佐々木 暢さん＞  
外部卓話者未定の例会以外はすべて予定どおり

※ 2 月度理事会

2月7日(火) 17:30～  
名古屋マリオットアソシアホテル  
17 F「パイン」